

第6回被災者復興支援会議

(平成25年7月12日)

玉浦西地区まちづくり検討委員会の 取組状況

岩沼市

建設部復興整備課

岩沼市の地域性と被災状況(津波浸水区域等)



千貫村

岩沼町

玉浦村

被災状況

- 津波による浸水面積：市域の約48%
- 死者：181人（直接死）
- 住居被害：全壊 736戸、大規模半壊 509戸、半壊 1097戸、一部損壊 3086戸、計5428戸（H24/11/30時点）
- 瓦礫等の量：約50万t

玉浦地区の再生

昭和30年 4月1日千貫村、玉浦村と合併し新製の岩沼町となる
昭和46年11月1日市制施行し岩沼市となる

移転促進区域と集団移転先

玉浦西地区(三軒茶屋西地区)



(相野釜地区)

(藤曽根地区)

(二野倉地区)

(長谷釜地区)

(蒲崎地区)

(新浜地区)

地区名	促進区域の面積 (ha)	促進区域内住居数 (戸)	集団移転先住居数 (世帯)
相野釜	38	116	73
藤曽根	8	19	14
二野倉	22	91	64
長谷釜	19	74	58
蒲崎	33	128	84
新浜	14	43	35
計	134	471	328

集団移転に関する経緯等

区分	6 地区代表者会	まちづくり検討委員会	許認可等	防集・災害公営事業等
H23年度 上半期	<ul style="list-style-type: none"> ● 被害状況、今後の対応 ● 地盤沈下、支援制度、復旧・復興 ● 集団移転、復興グランドデザイン（案） 			<ul style="list-style-type: none"> ● 震災復興計画グランドデザイン策定（8/7）
H23年度 下半期	<ul style="list-style-type: none"> ● 集団移転先候補地検討、決定（11/2） ● 第1回個別面談調査報告 ● 集団移転に係る各種補助制度（2/16） ● 移転促進区域等の考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員推薦依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ● 復興整備協議会（防集計画、農地転用 3/23） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 震災復興計画マスタープラン策定（9/27） ● 玉浦西用地交渉開始（11/21） ● 第1回個別面談調査（12/1～）
H24年度 上半期	<ul style="list-style-type: none"> ● 集団移転に関するスケジュール（4/9） ● 玉浦西地区まちづくり検討委員会（4/9） ● 第2回個別面談調査報告 ● 移転先の地区配置等（8/24） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員会設置（6/11） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 復興整備協議会（開発行為 5/22） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第2回個別面談調査（5/23～） ● 玉浦西用地取得契約（7/27） ● 玉浦西造成工事起工式（8/5） ● 三軒茶屋西用地取得契約（9/4） ● 県と災害公営業務協定締結（9/28）
H24年度 下半期	<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくり検討委員会報告書（10/1） ● 市独自支援策（10/1） ● 移転元地の買取（11/1） ● 災害危険区域等（11/1） 	<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりの方針及び土地利用計画報告（9/19） ● 画地の配置及び公共・公益施設整備方針報告（2/6） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 防集計画第1回変更（10/24） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 三軒茶屋西移転者と契約（11/1） ● 移転支援制度受付開始（12/3） ● 移転元地買取個別相談（12/15～） ● 災害危険区域指定（12/17） ● 玉浦西画地仮申込（12/25～） ● 移転元地買取開始（1/8～）
H25年度 上半期		<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりのルール（地区計画）報告（4/3） ● 新たな地域づくりの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発行為変更（6/7） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 玉浦西商業施設公募 ● 道路・公園等工事
H25年度 下半期		<ul style="list-style-type: none"> ● 検討委員会最終報告書の提出 		<ul style="list-style-type: none"> ● 一般建物建築工事 ● 災害公営住宅建築工事

玉浦西地区のまちづくりで目指すもの

玉浦地区の再生の起爆剤

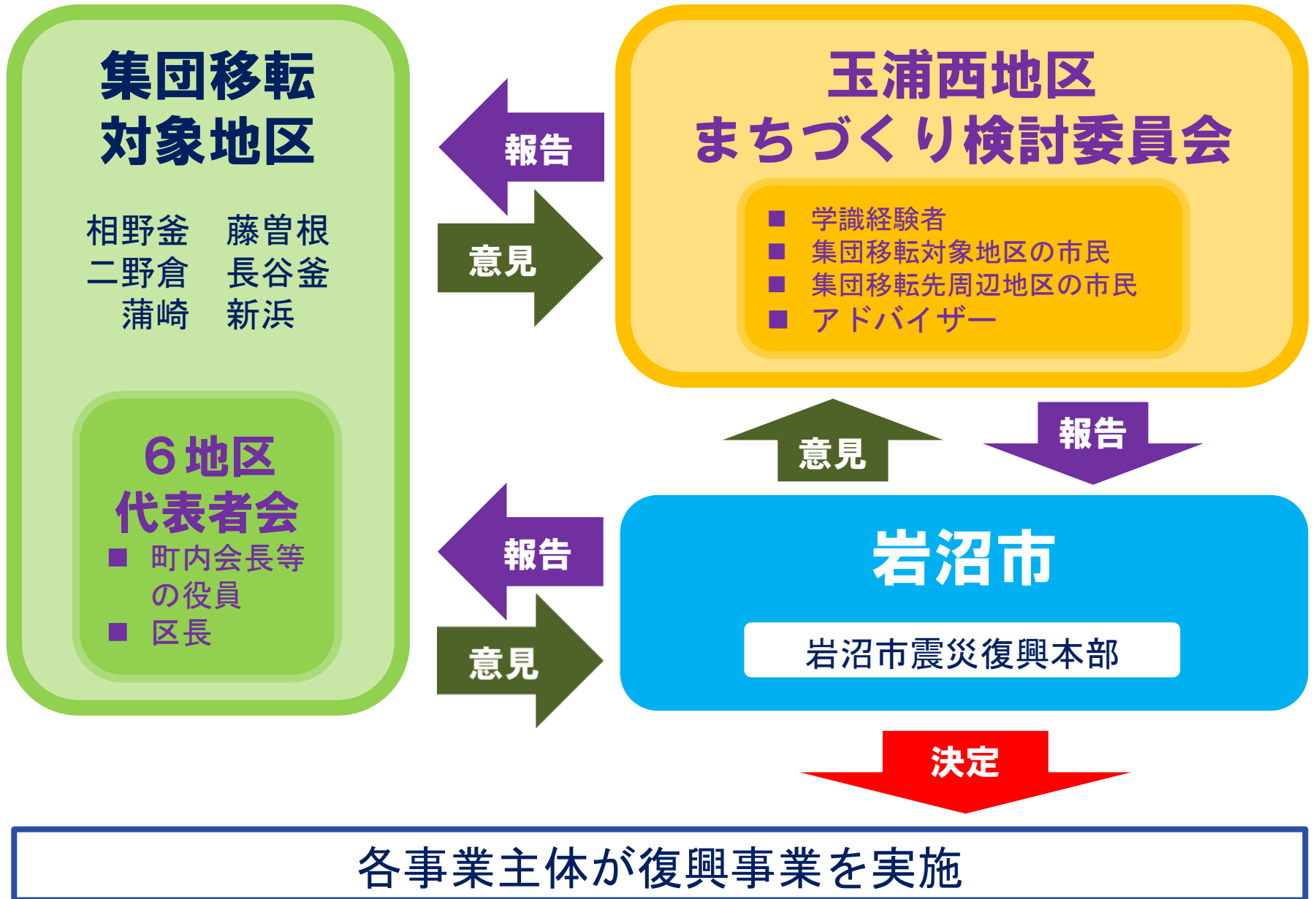
- 
1. コミュニティーの維持と形成
 2. 世代を超えた持続可能なまちの形成

- 
1. オーダーメイドのまちづくり
 2. エココンパクトシティの具現化



個人住宅の再建が一人ひとりの復興のスタート
平成25年度末までに玉浦西地区での一部居住開始

玉浦西地区のまちづくり推進体制



玉浦西地区のまちづくりの展開

1. 玉浦西地区に想いのある人でチームを作る

玉浦西地区まちづくり検討委員会

- ① 集団移転対象地区の市民（※集団移転先に移転を希望している方）
 - ・ 町内会長又は区長等の地区の役員の方
 - ・ 女性代表
 - ・ 青年代表（概ね40歳以下の男性又は女性）
- ② 集団移転先周辺地区の市民
- ③ 学識経験者
- ④ アドバイザー

2. まちづくりの想いを伝える

- ① アドバイザー講話
- ② 委員による「まちづくりカード」の発表
- ③ まちづくりニュースの発行

3. まちづくりの想いを集める

まちづくりアンケート調査（玉浦西地区へ移転希望の方、玉浦西地区以外へ移転希望の方、玉浦西地区周辺にお住まいの方）

4. まちづくりの想いを形にする

ワークショップ

- ① まちづくり方針及び土地利用計画
- ② 画地の配置方針及び公共・公益施設整備方針
- ③ 地区計画及び新たな地域づくり方策

1. 玉浦西地区に想いのある人でチームを作る

玉浦西地区まちづくり検討委員・アドバイザー

職名	氏名	区分
委員長	阿留多伎真人	学識経験者
副委員長	福屋粧子	
委員	中川勝義 桜井よしみ 桜井理恵	相野釜地区
	佐藤和夫 佐藤清子 大内貞雄	藤曾根地区
	齋健二 小林昌代 菊地康志	二野倉地区
	菊地幸一 斎藤洋子 菊地善信	長谷釜地区
	菅原栄 浅野公子 森功	蒲崎地区
	菅原一夫 菅原真奈美 佐藤克己	新浜地区
	伊藤喜美雄 加藤敬三 熊谷慶一	集団移転先周辺地区の市民
アドバイザー	石川幹子 (東京大学大学院 教授、岩沼市震災復興会議議長)	
	小野田泰明 (東北大学大学院 建築・社会環境工学科長)	
	三部佳英 ((財)宮城県建築住宅センター 理事長)	

2. まちづくりの想いを伝える

①アドバイザー講話

石川幹子氏

『「愛と希望の復興」の速やかな実現に向けて』



小野田泰明氏

『復興という作業と建築家の役割』



三部佳英氏

『玉浦西地区のまちづくりについて』



2. まちづくりの想いを伝える

②委員による「まちづくりカード」の発表



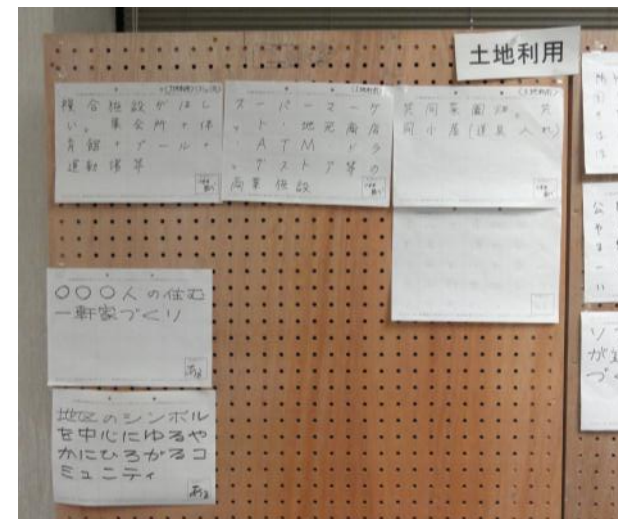
コミュニティ



景観



土地利用



2. まちづくりの想いを伝える

③まちづくりニュースの発行

玉浦西地区まちづくり検討委員会 発行

2012年6月27日

玉浦西地区まちづくりニュース 第1号

このニュースでは、「玉浦西地区まちづくり検討委員会」の内容を中心に、玉浦西地区のまちづくりに関するさまざまな情報を配信します。

玉浦西地区まちづくり検討委員会がスタート!!

東日本大震災に伴う集団移転先である玉浦西地区のまちづくりについて、総合的に検討するため、『玉浦西地区まちづくり検討委員会』が設立され、6月11日(月)に市役所大会議室で第1回会議が開催されました。

まちづくり検討委員会は、学識経験者2名、各地区代表者18名(6地区×3名)、玉浦西地区の周辺地区市民3名の計23名で構成され、アドバイザー3名を含めたメンバーで進めてまいります。

第1回会議では、委員からの互選により、阿留多伎眞人委員が委員長に、福屋粧子委員が副委員長に選任されました。

検討委員会では、これから来年度末にかけて、玉浦西地区のまちづくりに関するさまざまなことについて検討してまいります。まずは8月末を目途に、まちのコンセプト、6地区の配置方針や道路・公園等主要な公共施設の配置方針(ゾーニング)などについて検討していきます。



●●● 玉浦西地区まちづくり検討委員会メンバー ●●●

■委員(23名)

(敬称略)

区分	氏名	所属	区分	氏名	所属	
学識経験者	阿留多伎 眞人	地駒学院大学教授	集団移転対象地区の市民	菊地 幸一	長谷釜地区	
	福屋 粧子	東北工業大学講師		高橋 洋子		
集団移転対象地区の市民	中川 勝義	相野釜地区		菊地 善信		
	桜井 よしみ			菅原 栄一		
	穴戸 誠	藤嶋根地区		浅野 公子		蒲崎地区
	佐藤 勲			森 功		
	佐藤 満子	二野倉地区		菅原 一夫		新浜地区
	佐藤 武志			菅原 真奈美		
	菊地 久義	玉浦西地区の市民		佐藤 克己		
	小林 昌代			伊藤 喜美雄		
	菊地 康志			加藤 敬三		
						熊谷 慶一

■アドバイザー(3名)

石川 幹子 東京大学大学院 教授 (岩沼市復興会議議長)
 小野田 泰明 東北大学大学院 建築・社会環境工学科学科長
 三浦 佳英 (財)宮城県建築住宅センター 理事長

お問い合わせ先:岩沼市建設部復興整備課 電話:22-1111 内線 425

玉浦西地区まちづくり検討委員会 発行

2012年7月25日

玉浦西地区まちづくりニュース 第3号

このニュースでは、「玉浦西地区まちづくり検討委員会」の内容を中心に、玉浦西地区のまちづくりに関するさまざまな情報を配信します。

まちづくりに対する想いを発表!!

『玉浦西地区まちづくり検討委員会』の第3回会議が7月11日(水)に市役所大会議室で開催されました。

今回の会議では、各委員のまちづくりに対する想いを「まちづくりカード」として発表いただきました。発表にあたっては、意見の内容を「コミュニティ」「土地利用」「景観」「その他」の4つのカテゴリーに分類しながら行いました。



「コミュニティ」に関しては、『各地区ごとに移転』という点を基本としつつ、樹木など従来の地区にあったシンボルを核としたまちづくりや災害公営住宅も含めたコミュニティの配置など、従来のコミュニティの維持、継承に関する意見が多くあげられました。また、周辺地区の方々をはじめとするさまざまな方が利用できる施設に関する意見も多くあげられました。



「土地利用」に関しては、道路や公園整備に関すること、防災調整地の整備に関すること、商業施設や保育所、医療施設等の生活利便施設の整備に関することなどのほか、生け垣や建物の建て方等まちづくりのルールに関することなど、さまざまなご意見があげられました。



「景観」に関しては、道路や公園の緑化に関することのほか、電線地中化による玉浦西地区全体の良好な景観の確保に関するご意見が多くあげられました。



「その他」に関しては、太陽光発電などの自然エネルギーの活用や共同で利用できる菜園などに関する意見があげられました。

今回あげられたご意見をもとにしながら、次の会議では、玉浦西地区のまちづくりに関するコンセプトや方針などについて、グループ討論する予定です。

●●● 玉浦西地区まちづくりアンケート調査へのご協力ありがとうございました ●●●

お問い合わせ先:岩沼市建設部復興整備課 電話:22-1111 内線 425

3. まちづくりの想いを集める

まちづくりアンケート調査

A) 玉浦西地区へ移転希望の方

(対象＝中学生以上の方全員、質問項目＝12)

- ① 将来のまちづくりについて
- ② コミュニティやシンボルについて
- ③ 地区に必要な施設について
- ④ まちづくりのルールについて

A

3. 玉浦西地区のコミュニティやシンボルについてお聞かせください。

(2) 将来のコミュニティのあり方について、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 これまで住んでいた地区単位でまとまってコミュニティを維持した方がよい
- 2 これまでの地区にこだわらず、新しいコミュニティを作った方がよい
- 3 その他(具体的に)

(3) コミュニティを維持していく、または新しいコミュニティを形成するために必要と思われることはどんなことですか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

- 1 風習や祭りなど、従来から地区のみんで行ってきた活動を引き続き
- 2 新しい風習や祭りなどを作り出して、地区のみんで活動する
- 3 従来から地区にあったシンボルとなるものを玉浦西地区に移転する
- 4 新しい地区のシンボルとなるものを玉浦西地区につくる
- 5 その他(具体的に)

(4) 地区のコミュニティを維持、継承していくために必要となる各地区の風習や祭り、シンボルとなるようなものには、どのようなものがありますか。具体的な名称などをご自由に記入ください。

(5) 玉浦西地区にこれまでの地区(6集落)をどのように配置したら良いと思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

- 1 これまで住んでいた地区を基本とした配置がよい
- 2 これまで住んでいた地区をもとに他の地区とゆるやかにつながる配置がよい
- 3 これまでの地区にこだわらないで、各個人の希望を優先するなど、自由に配置した方がよい
- 4 その他(具体的に)

(6) 玉浦西地区の周辺の住民の方とどのようなつきあひ方をされますか。次の中からいくつでも選んで、あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 友達や知り合いの家にお互いに訪問するなど密接なつきあひ
- 2 地区の祭りや学校行事などに相互に参加するようにつきあひ
- 3 親や親戚の家に行く程度のつきあひ
- 4 まちであつたらあひさつする程度のつきあひ
- 5 その他(具体的に)

B) 玉浦西地区以外へ移転希望の方

(対象＝世帯ごと、質問項目＝5)

- ① 将来のまちづくりについて
- ② コミュニティやシンボルについて

B

3. 玉浦西地区のコミュニティやシンボルについてお聞かせください。

(2) 将来のコミュニティのあり方について、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 これまで住んでいた地区単位でまとまってコミュニティを維持した方がよい
- 2 これまでの地区にこだわらず、新しいコミュニティを作った方がよい
- 3 その他(具体的に)

(3) コミュニティを維持していく、または新しいコミュニティを形成するために必要と思われることはどんなことですか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

- 1 風習や祭りなど、従来から地区のみんで行ってきた活動を引き続き
- 2 新しい風習や祭りなどを作り出して、地区のみんで活動する
- 3 従来から地区にあったシンボルとなるものを玉浦西地区に移転する
- 4 新しい地区のシンボルとなるものを玉浦西地区につくる
- 5 その他(具体的に)

(4) 地区のコミュニティを維持、継承していくために必要となる各地区の風習や祭り、シンボルとなるようなものには、どのようなものがありますか。具体的な名称などをご自由に記入ください。

(5) 玉浦西地区の方とこれらどのようなつきあひ方をされますか。次の中からいくつでも選んで、あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 友達や知り合いの家にお互いに訪問するなど密接なつきあひ
- 2 地区の祭りや学校行事などに相互に参加するようにつきあひ
- 3 親や親戚の家に行く程度のつきあひ
- 4 まちであつたらあひさつする程度のつきあひ
- 5 その他(具体的に)

C

3. 玉浦西地区のコミュニティやシンボルについてお聞かせください。

(2) 玉浦西地区の新しい住民の方とどのようなつきあひ方をされますか。次の中からいくつでも選んで、あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 友達や知り合いの家にお互いに訪問するなど密接なつきあひ
- 2 地区の祭りや学校行事などに相互に参加するようにつきあひ
- 3 親や親戚の家に行く程度のつきあひ
- 4 まちであつたらあひさつする程度のつきあひ
- 5 その他(具体的に)

(3) 玉浦西地区の新しい住民の方へ紹介したい玉浦西地区周辺の風習や祭り、シンボルとなるようなものには、どのようなものがありますか。具体的な名称などをご記入ください。

4. 玉浦西地区に必要な施設についてお聞かせください。

(4) 玉浦西地区の集落にあたり、道路や公園などの公共施設の整備が特に配慮すべきと思うものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。

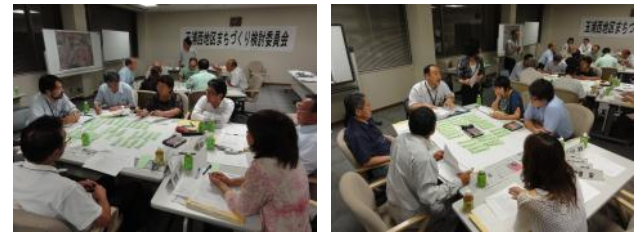
- 1 車がスムーズに走れるような広い車道の整備
- 2 歩行者が安心して歩けるような広い歩道の整備
- 3 のびのび遊んだり、散歩ができるような広い公園の整備
- 4 花畑などの手入れができる身近な小さい公園の整備
- 5 水と親しめる水辺や池の整備
- 6 高齢者や公園の観察などの課化
- 7 集落内での活動を支える交流施設
- 8 その他(具体的に)

(5) 玉浦西地区の集落にあたり、必要な生活利便施設はどれですか。次の中から3つまで選んでください。

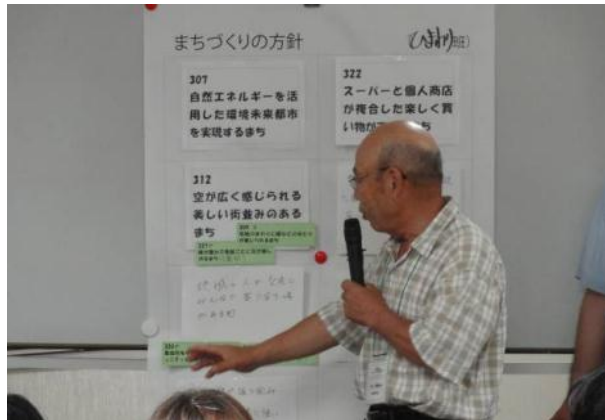
- 1 スーパー等の生活必需品などを扱う小売店舗
- 2 24時間利用可能なコンビニエンスストア
- 3 小児科・内科・歯科などの医療施設
- 4 駅前薬局・ドラッグストア
- 5 銀行・郵便局
- 6 ATM(現金自動預け払い機)
- 7 飲食店
- 8 専門学校等の学校施設
- 9 その他(具体的に)

4. まちづくりの想いを形にする

ワークショップ（まちづくり方針）



ひまわり班



- ① 自然エネルギーを活用した環境未来都市を実現するまち
- ② スーパーと個人商店が複合した楽しく買い物ができるまち
- ③ 空が広く感じられる美しい街並みのあるまち
- ④ 安心して子育てができ、身近に病院や介護施設があり安心するまち
- ⑤ 地域の人交流し、みんなで寄り合う場があるまち
- ⑥ ひとを包み込むような懐かしい、緑豊かな水辺の風景のあるまち（調整池、水路）
- ⑦ 外周を緑や堀で囲み、津波、豪雨等災害に強い安全なまち

さわやか班



- ① 地盤が強く、地震、津波、豪雨等災害に強い安全なまち
- ② 6地区のまとまりを基本としたつながりのあるまち
- ③ 安心して子育てができるような集会所等を中心に人が集まるコミュニティのあるまち
- ④ 太陽光等自然エネルギーを活用した環境未来都市を実現するまち
- ⑤ 空が広く感じられる美しい街並みや、色合いが整った潤いのあるまち
- ⑥ スーパーと個人商店が複合した楽しく買い物ができるまち

TMU班



- ① 緑が豊かで季節ごとに花や木の実が楽しめるまち
- ② 空が広く感じられる美しい街並みのあるまち
- ③ 子どもや高齢者が地域のみまもり活動により、安心して元気に暮らせるまち
- ④ 自然エネルギーを活用した環境未来都市を実現するまち
- ⑤ 6地区のまとまりを基本としたつながりとルールのあるまち
- ⑥ スーパーと個人商店が複合した楽しく買い物ができるまち
- ⑦ 自然災害に強く、安全で素早く避難できるまち

玉浦西地区のまちづくり方針

- ① 自然災害に強い安全なまち
- ② 自然エネルギーを活用した環境未来都市を実現するまち
- ③ 空が広く感じられる美しい街並みのあるまち
- ④ 地域の交流ができる集会所や菜園のあるまち
- ⑤ 緑豊かで水辺のある景観のよいまち
- ⑥ スーパーと個人商店が複合した楽しく買物ができるまち
- ⑦ 地域のみまもりにより、高齢者福祉と子育てが充実したまち

4. まちづくりの想いを形にする

ワークショップ（土地利用計画）

① 班ごとに、まちのイメージを描く

まちづくり方針をもとに、委員自らがペンを動かして班としてのイメージ案を描く。

② 班ごとに、まちのイメージをブラッシュアップする

地域や公園等のボリュームの分かる紙を使い、クルマの動線やヒトの動線、各班の案の良いところなどを取り入れながら、まちのイメージを再検討する。

③ 班ごとに、6地区の位置を検討する

事務局が提示した土地利用計画（基本パーツ図）をもとに、6地区の位置を含め、まちのイメージを再検討する。

④ 一つの土地利用計画図にする

事務局が提示した土地利用計画図について全体で検討を行う。

⑤ 土地利用計画図を決定する

土地利用計画図をもとに作成したイメージ模型により、まちのイメージを確認する。

4. まちづくりの想いを形にする

ワークショップ（土地利用計画）

① 班ごとに、まちのイメージを描く



ひまわり班



さわやか班



TMU班



4. まちづくりの思いを形にする

ワークショップ（土地利用計画）

② 班ごとに、まちのイメージをブラッシュアップする



ひまわり班



さわやか班



TMU班



4. まちづくりの想いを形にする

ワークショップ（土地利用計画）

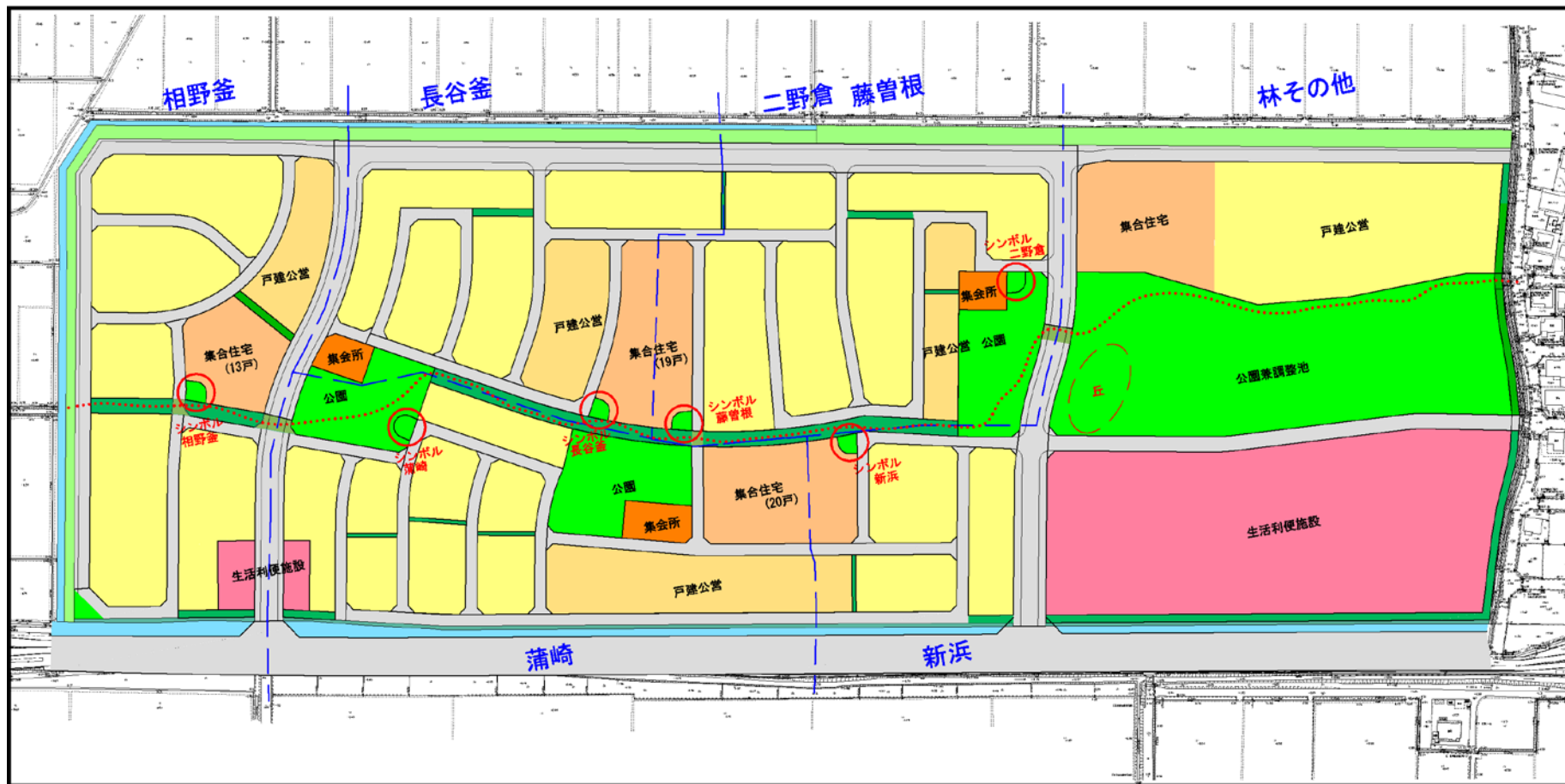
③ 班ごとに、6地区の位置を検討する



4. まちづくりの想いを形にする

ワークショップ（土地利用計画）

④ 一つの土地利用計画図にする



4. まちづくりの想いを形にする

ワークショップ（土地利用計画）

⑤ 土地利用計画図を決定する



検討委員会の経緯

まちづくり方針及び土地利用計画の検討

月日	回	内容	備考
H24. 6. 11	1	<ul style="list-style-type: none">● 防災集団移転促進事業の経緯等説明● 検討委員会のスケジュール	
H24. 6. 27	2	<ul style="list-style-type: none">● アドバイザー講話（石川氏、小野田氏、三部氏）	
H24. 7. 11	3	<ul style="list-style-type: none">● まちづくりアンケートの検討● まちづくりカードの発表	
H24. 7. 25	4	<ul style="list-style-type: none">● まちづくりカードのまとめ● まちづくり方針の検討	グループワーク
H24. 8. 8	5	<ul style="list-style-type: none">● まちづくりアンケートの集計結果報告● まちづくり方針の検討● 土地利用計画の検討	グループワーク
H24. 8. 22	6	<ul style="list-style-type: none">● まちづくり方針の検討● 土地利用計画の検討	グループワーク
H24. 8. 29	7	<ul style="list-style-type: none">● まちづくり方針のまとめ● 土地利用計画の検討	グループワーク
H24. 9. 4	8	<ul style="list-style-type: none">● 土地利用計画の検討	
H24. 9. 12	9	<ul style="list-style-type: none">● 土地利用計画のまとめ● 市長への報告書（案）の検討	
H24. 9. 19	10	<ul style="list-style-type: none">● まちづくり方針及び土地利用計画の市長報告	

検討委員会の経緯

画地の配置及び公共・公益施設整備方針（案）の検討

月日	回	内容	備考
H24. 10. 17	11	● 画地の配置（案）の検討	
H24. 10. 28～11. 4		地区ごとに画地割りを検討	
H24. 12. 12	12	● 画地の配置（案）の報告 ● 公共・公益施設整備コンセプト（案）の検討	
H25. 1. 9	13	● 公共・公益施設整備方針（案）の検討	グループワーク
H25. 1. 23	14	● 公共・公益施設整備方針（案）の検討	グループワーク
H25. 2. 6	15	● 画地の配置及び公共・公益施設整備方針（案）を市長へ報告	

画地の配置検討



公益施設整備方針（案）の検討



検討委員会の経緯等

新たな地域づくり方策の検討

月日	回	内容	備考
H25. 4. 3	18	● 新たな地域づくり方策の検討課題等提案アンケート	
H25. 5. 15	19	● 新たな地域づくり方策の検討（課題等提案アンケート取り纏め）	グループワーク
H25. 6. 5	20	● 新たな地域づくり方策の検討（課題毎の検討主体と作業内容）	グループワーク
H25. 6. 26	21	● 新たな地域づくり方策の検討（玉浦西地区の新名称）	グループワーク
H25. 7. 17 ～ H25. 11. 20頃	22 ～ 27	● 新たな地域づくり方策の検討（施設の名称等、公園・緑地・集会所の管理等、シンボル、地区内施設等、地区内交流、生垣・道路の管理、その他） ● 最終報告書の検討 ※委員会活動を通じた玉浦への思い等	グループワーク

検討課題ごとの検討主体・作業内容・スケジュール（案）

《優先的に検討する課題》

分類	課題	検討主体と作業内容等					スケジュール（回数項目は検討委員会です。）											備考						
		市	検討委員会	各地区	6地区全体	個人	21回 (6/26)	地区	22回 (7/17)	地区	23回 (8/7)	地区	24回 (8/28)	地区	25回 (9/25)	地区	26回 (10/9)		地区	27回 (11/20)	地区	6地区 全体		
名称等に関すること	地区の名称の決め方等	4実施	①原案作成 (手法の検討) → ③手続の決定 → ⑤名称の決定	→ ②意見検討・ 提出			①原案 作成 (手法の 検討)	②意見 検討・ 提出	③手続 の決定			④実施					⑤名称 の決定						名称の対象・住所・町内会⇒町内会等の組織体制についても併せて検討	
	公園・緑地の名称・名称の決め方等	4実施	①原案作成 (手法の検討) → ③手続の決定 → ⑤名称の決定	→ ②意見検討・ 提出						①原案 作成 (手法の 検討)	②意見 検討・ 提出	③手続 の決定	④実施			⑤名称 の決定								
	町内会等の組織体制		②とりまとめ・ 調整・決定	← ①原案作成				①原案 作成	②とりま とめ	②調整・ 決定														
公園・緑地・集会所の管理等に関すること	公園・緑地・フットパスに関する具体的な管理方法、体制等	4周知	①原案作成 → ③とりまとめ・ 調整・決定	→ ②意見検討・ 提出								①原案 作成	②意見 検討・ 提出	③とりま とめ・ 調整	②意見 検討・ 提出	③決定							原案検討時に市より条件提示	
	いぐね緑地に関する具体的な管理方法、体制等	4周知	①原案作成 → ③とりまとめ・ 調整・決定	→ ②意見検討・ 提出								①原案 作成	②意見 検討・ 提出	③とりま とめ・ 調整	②意見 検討・ 提出	③決定							原案検討時に市より条件提示	
	地区内の住民が一緒に行うもの（花壇、薬草園の植樹等）の内容	3周知	②とりまとめ・ 調整・決定	← ①原案作成									①原案 作成	②とりま とめ・ 調整		②決定								
	集会所、トイレ等の管理（清掃、鍵等）体制等	4周知	①原案作成 → ③とりまとめ・ 調整・決定	→ ②原案検討・ 作成				①原案 作成	②原案 検討・ 作成	③とりま とめ・ 調整・ 決定														集会所の使い方併せて検討

■ 検討の開始主体

玉浦西地区まちづくり検討委員会スケジュール

区 分		H24年度 上半期	H24年度 下半期	H25年度 上半期	H25年度 下半期
検討委員 会スケ ジュール	委員会発足 (H24年6月11日)	●			
	アドバイザーによる講話	●			
	まちづくりアンケート調査	●			
	まちづくりカードの作成と検討	●			
	①まちづくり方針の検討		●		
	②土地利用計画(案)の検討		●		
	③画地の配置方針(案)の検討			●	
	④公共・公益施設整備方針(案)の検討				●
⑤地区計画(案)の検討				●	
⑥新たな地域づくりの検討					●
最終報告書の検討					●
地域の意 見収集	委員による検討項目ごとの地域意見収集	●—————●			
	アンケート調査	●			
工事スケ ジュール	盛土設計	●————●			
	道路・公園・調整池等設計			●————●	
	盛土工事		●————●		
	道路・公園等工事			●————●	
	建物建築工事				●————

玉浦西地区のイメージ図



想いは未来へ

ふるさとの復興を願って